

サステナビリティ重点課題 実績・進捗 (2024年5月現在)

※ 会社略称表記

SH: サッポロホールディングス、SB: サッポロビール、PS: ポッカサッポロ、SRE: サッポロ不動産開発

SLN: サッポロライオン、SGF: サッポログループ食品、SBL: スリーマン、SUSA: サッポロUSA、SVL: サッポロベトナム、

PK: ポッカ、YSM: ヤスマ、FBS: フォーモストブルーシール、SSI: 神州一味噌

区分	最注力	重点課題	具体的取り組み	指標	目標設定会社	目標年	目標	最新の実績・進捗	
環境との調和	●	脱炭素社会の実現	自社拠点・サプライチェーンにおける温室効果ガス排出削減	・温室効果ガス排出削減量	サッポログループ	2030年	・スコープ1,2 温室効果ガス排出量を2022年比で42%削減	【2023年実績】 ・175.2千t (2022年比92.6%)	
					サッポログループ (SB,SBL,PS)		・スコープ3 温室効果ガス排出量を2022年比で25%削減	【2022年実績】 ・1138.1千t	
							・FLAGスコープ1,3 温室効果ガス排出量を2022年比で31%削減	【2022年実績】 ・101.8千t	
		循環型社会の実現	・循環型社会に対応した容器包装の実現 ・プラ資源のリデュース・リサイクル  廃棄物・食品ロス削減  水資源の保全	・PETボトル製品 再生材利用率	SB	2030年	・国内製造ワインPET 再生材利用率50%	【2023年実績】 ・再生材利用率 50.87 %	
					PS	2030年	・国内販売PET製品 再生材利用率50%	【2023年実績】 ・再生材利用率 9.7%	
				・広告品類プラスチック削減量	SB	2030年	・化石燃料由来のワンウェイプラスチック製広告品類 国内原則廃止	【2023年実績】 ・72.6t ※20年 160.6t、21年 212.3t、22年 83.7t	
				・食品再生化等実施率	SLN	2024年	・食品再生化等実施率50%	【2022年度 (2022.4~2023.3) 実績】 ・48.4%	
				・生産拠点における廃棄物再資源化率	SB,PS		・国内生産拠点における廃棄物再資源化率100%	【2022年度 (2022.4~2023.3) 実績】 ・100%	
				・水使用量削減率	SB,PS	2030年	・国内生産拠点における水使用量10%削減 (2013年比)	【23年実績】 ・グループ (SB+PS) : 18.0%減	
			・水リスク管理	SB,SBL,SAS,SVL,PS,PK,YSM,SSI		・1回/3年以内による全生産拠点等の水リスクを調査 ・水の効率的な使用	【2023年実績】 ・水リスクなどの情報開示により、CDP水セキュリティ リスト企業選定		
		自然共生社会の実現	気候変動に対応した原料育種、自然と共生する拠点・まちづくり	・気候変動対応原料育種の進捗	SB	2030年	・気候変動対応可能な特性を持つ大麦・ホップの国内品種登録出願  【2023年実績】 (大麦) 赤かび病抵抗性品種候補4系統を公的試験であるビール大麦育成系統合同比較試験に供試 赤かび病抵抗性の簡易検定法の確立 穂発芽耐性の付与と発芽期間の短縮の可能性を有する新たな大麦 (N68-411) について、複数の国際学会にて発表  (ホップ) うどんこ病抵抗性 + 高α酸品種候補調査開始		
社会との共栄	●	地域との共栄	・地域の価値向上 ・自社リソースを活用した地域課題解決	・エリアブランド価値向上に資する持続可能なまちづくりの進捗	SRE		・保有物件価値向上と賑わいの創出 ・物件エリアのステークホルダーとのコミュニティ形成・強化・拡大 ・誰にでも優しい施設づくり	【2023年実績】 ・コミュニティ形成に資するイベント実施件数 30件 (恵比寿: 21件、札幌: 9件)	
				・「地域創生事業」の進捗	SB		・自治体と連携した持続可能な地域創りとして、食材商談会における地域の食材サプライヤーと企業のマッチング等を実施 ・商談会における自治体、サプライヤー、バイヤー満足度75.0%以上	【2023年実績】 ・マッチング件数: 全344商談 (前年246商談) ・商談成約率: 令和5年度末に集計 ・アンケート満足度: バイヤー84%、サプライヤー89%	
				・日本のレモン生産の環境構築の進捗	PS		◆長期 ・日本のレモン栽培の豊かな土地と恵みを、未来の人々と地域に受け継ぐ ◆短期 ・毎年最低でも農地の最小単位である2,000㎡を増やす ・自社だけでなくパートナーとともに、栽培耕地の拡大 ・後継不在の農地引継ぎ、耕作放棄地の再生等の実施	【2023年度実績】 ・大崎上島内農家との契約栽培化を実施 ・その他複数のレモン生産地域へのヒアリング実施 ・1,659㎡の契約農地化	
				・食品飲料事業に関する地域における学習プログラム (食育、出前授業、工場見学等) の実施件数	PS,SGF	2030年	2021年比で10倍 (400件規模)	【2023年度実績】 ・250件 (2021年比 約6.8倍)	
			健康価値の提供	事業を通じた健康価値の提供	「ポッカレモン」ブランド集計 [年間購入率 (%)・年間購入数量 (購入者あたりの本数)]	PS	2030年	レモンが持つ健康機能の発信や用途・シーンの提案を通じて、レモンの総需要を拡大することで人々のWell-Beingに貢献する	【2023年度実績】 ①年間購入率 14.34 (%) ②年間購入数量 1.91 (購入者あたりの本数)  <過去参考値> ①年間購入率: 20年15.35/21年16.21/22年15.48 ②年間購入数量: 20年1.89/21年1.99/22年1.92
				・お客様の健康に焦点を当てた商品の展開状況	PK	2030年	健康に焦点を当てた新商品の開発と市場浸透を進め、売上構成比10%を目指す (POKKA製品に限る)	【2023年実績】 ・2.7%(sales in Singapore only/シンガポール売上)	
				・健康価値提供に資する保有物件の認証取得状況	SRE		・健康価値提供に資する保有物件の認証取得	【2023年実績】 ・2023/8月 オフィスタワー CASBEE-ウェルネスオフィス評価認証最高位[Sランク]取得	
			持続可能なサプライチェーン構築	・サプライチェーンにおける人権尊重 ・サプライチェーンにおける環境負荷低減 ・安定調達	・サステナビリティ調達ガイドラインの遵守率	SB,SBL,SUSA,SVL,PS,PK,YSM,SGF(FBS,SSI),SLN		・「調達基本方針」及び「サステナビリティ調達ガイドライン」の働きかけ及び浸透策の実施。	【2023年実績】 ・各社主要調達先への働きかけに取組み、対象サプライヤーを順次拡大中。 ・調達基本方針、サステナビリティ調達ガイドラインの理解促進、同意書取得。 ・サステナビリティ調達アンケートを実施。
				・人権DDプロセスの進行状況	SB,PS		・主要調達先のサステナビリティ調達ガイドライン 遵守率100%	【2023年実績】 ・遵守率100%	
					SB,SBL,SUSA,SVL,PS,PK,YSM,SGF(FBS,SSI),SLN		・サプライチェーンの人権尊重を確認できるスキーム <sup>(8)</sup> の確立・実行。(主要原料と高リスク原料から優先実施) ※①各原料に関するサプライチェーンの一覧化 ②アンケート等による日常活動確認 ③必要に応じた状況調査等 ④必要に応じた是正の確認	【2023年実績】 ・各社主要原料、高リスク原料について特定。 ・サプライチェーンの一覧化とサステナビリティ調達アンケート実施中。 ②についてはSedexの活用も進めている。	
				SB,PS	2025年	・主要原料および高リスク原料について、人権尊重された調達になっていることの確認を実施	【2023年実績】 ・「サステナビリティ調達アンケート」により、主要調達先の取り組みを確認した。現状問題となる事象は確認していない。		
				SRE		・不動産事業におけるバリューチェーン人権尊重に関する実態把握	【2023年実績】 ・グループで連携した取り組みを継続		

区分	最注力	重点課題	具体的取り組み	指標	目標設定会社	目標年	目標	最新の実績・進捗
人財の活躍	●	多様な人財の活躍	DE&Iの推進	・多様な価値観、新しい働き方に合わせた制度・環境の整備状況	SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・ワークエンゲージメント(※) 54以上 ※ストレスチェック・従業員意識調査による指標<偏差値>	【2023年調査結果】 ・ワークエンゲージメント54.0
					SBL		・DE&I研修を受けた従業員の割合 100%	・DE&I研修を受けた従業員の割合 94%
					SVL		・コンシャス・インクルージョン研修を受講した雇用リーダーの割合：100%	【2023年実績】 ・リーダーグループ17%と人事部門メンバーに対して実施
							・DE&I理解度 6.0点(※)	【2023年実績】 ・5.74点
							・経営陣の中のローカル社員人数 2名	【2023年実績】 ・1名
			PK	・組織文化調査 6.00点(※) ※SVL社実施の「組織文化調査」による指標(7点満点中)。 ・エンゲージメント 80% ※PK社実施の「従業員調査」による指標	【2023年実績】 ・5.96点 【2023年】 ・77%			
			成長と生産性向上に向けた人的資本投資	・積極投資による人財育成(経営人財/グローバル中核人財/DX・IT基幹人財)の進捗状況	SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・女性取締役比率12%以上、女性管理職比率12%以上	【2023年末】 ・女性取締役比率 7.9% (SH単体9.1%) ・女性管理職比率 6.7%
					SH		・女性取締役比率30%以上	
					SH,SB,PS,SRE,SLN		・女性管理職比率20%以上	
			責任ある飲酒の推進	適正飲酒の啓発	SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・未来価値創造に向けた挑戦的な風土醸成の進捗度合い	【2023年調査結果】 ・2.7
SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・経営人財後継者の充足			【2023年実績】 ・各事業会社にて、経営人財育成会議を実施			
SH,SB,PS,SRE,SLN		・グローバル中核人財100名			【2023年実績】 ・グローバル中核人財：常時100名以上プールしている			
SH,SB,PS,SRE,SLN		・DX・IT基幹人財200名			【2023年実績】 ・DX・IT基幹人財：200名育成完了			
SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・プレゼンティーズム損失率(※) 33.4%以下 ※ストレスチェック・従業員意識調査による指標	【2023年調査結果】 ・プレゼンティーズム損失率 33.8%					
安全な製品・施設の提供	食品安全	SB	2025年	・純アルコール量のラベル表示進捗	【2023年末時点】 ・94%			
		SB,SLN		・国内全従業員へのe-learning等による啓発(1回/年以上)100%参加	【2023年実績】 ・9月 eラーニング 全従業員向け 責任ある飲酒の推進 実施 社員受講率 99.4%			
		SLN		・飲食店におけるアルコールの誤飲発生件数	【2023年実績】 ・店舗におけるアルコール誤飲発生件数 0件			
		SLN		・飲食店メニュー・POP類へ20歳未満飲酒防止メッセージの表示率	【2023年実績】 ・飲食店メニュー・POP類へ20歳未満飲酒防止メッセージの表示率 100%			
安全な施設づくり	施設安全への取り組み状況	SRE	2026年	・食品安全保証体制の運用、継続的改善 ・重篤な食品事故の発生件数	【2023年実績】 ・グループ全体で、自主回収に至る重篤な食品事故の発生はなかった。 ・1件の対外告知案件(PS:アーモンドキャンペーンシールのアドレス間違い)が発生。再発防止に向け是正処置を実施した。  <お客様の声を受けての改良> ・「富士山麓のおいしい天然水525ml PET」で、再生PET樹脂(メカニカルリサイクル)を使用したため、ボトルが黄色みがかかって見えるようになり、お問い合わせを多数いただいた。対策として、商品の品質に問題がない旨の注意文言を商品ラベルに追加した。(PS:23年9月製造より)			
		SRE		・保有物件における適切な非常用電源の確保 ・保有物件における耐震性能の確実な確保 ・有事対応計画に関する定期的な見直しと訓練の遂行	【2023年実績】 ・防災訓練実施(年2回) ・自衛消防訓練実施(審査会優勝)			